

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線 42354  
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成29年10月26日

リコール届出番号	4133	リコール開始日	平成29年10月27日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 取締役社長 八郷 隆弘		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-086819	
不具合の部位（部品名）	燃料装置（燃料タンクキャップ）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	燃料タンクにおいて、燃料タンクキャップのシール性評価及び当該キャップに組付けられたパッキンホルダの寸法が不適切なため、パッキンが燃料で変形すると、キャップを閉めた際にパッキンがずれ、シール性が不足することがある。そのため、燃料が多い状態で急減速をすると、燃料がパッキンのシール部から漏れ、ドレンチューブより排出されるおそれがある。また、洗車時に水がシール部からタンク内に浸入すると、エンジン不調やタンク底部が錆び、そのままの状態で使用を続けると錆が進行し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、燃料タンクキャップを対策品と交換するとともに、当該キャップのシール状態を点検し、タンク内への水浸入を確認する。水が浸入している場合、鋼板製燃料タンク装着車両は、燃料タンク、燃料ポンプ、インジェクタを新品に交換し、チタン製燃料タンク装着車両は、燃料ポンプ、インジェクタを新品に交換する。			
不具合件数	4件	事故の有無	無し	
発見の動機	市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、車台番号付近にNo.4133のステッカーを貼付する。</li> </ul>			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	2BL-SC77	「CBR1000RR」	SC77-1000008～SC77-1000549 平成29年2月24日～平成29年4月26日	334	チタン製 燃料タンク 装着車両
			SC77-1000017～SC77-1000596 平成29年2月24日～平成29年8月9日	205	鋼板製 燃料タンク 装着車両
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成29年2月24日～平成29年8月9日	(計539台)	

### 【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。